

ツネイ TSUNEIさん

～ふるさと愛にあふれる
彼女の魅力を紹介します～

TSUNEIさんプロフィール

大和地域 大崎地区出身で20代後半のシンガー
ソングライター

2009年に歌手活動開始。2016年にファース
トアルバムを全国リリース。

※ TSUNEIさんの曲はオフィシャルウェブサ
イト（「TSUNEI」で検索）で視聴できま



南魚沼市出身でシンガーソングライターとして活動するTSUNEIさん。彼女の歌にかける情熱や、ふるさと南魚沼に対する思いを語っていただきました。

明るく元気があふれ、とても気さくな彼女の魅力を紹介します。

TSUNEIというアーティスト名の由来は何ですか？

歌を好きになるきっかけをくれた、今は亡きおじいちゃんの名前が由来です。昔のビデオテープを見ると、おじいちゃんが私に歌をリクエストして、歌っている映像がたくさん残っていました。歌っていると、おじいちゃんがとても喜んでくれて、それがうれしかったというのを覚えています。みんなから慕われ、私も大好きだったおじいちゃんの名前を借りることで、いつも力になってくれるような気がして、心強く歌えています。

音楽活動を始めたきっかけを教えてください。

小さいころから歌手になり

たいと思っていました。

高校卒業後は、歌手になることは諦めて上京し、グラフィックデザインの専門学校に進学しました。何かを創造したいと思うことで、歌手になりたい気持ちをごまかしていた部分があったと思います。専門学校卒業後、東京で就職し、二十歳になったとき、小学校6年生の授業で書いた二十歳になった自分への手紙が届きました。

手紙には「歌手になっていきますか？」と書かれていました。当時は周りの人に歌手になりたいと言えず、秘めた思いを二十歳の自分にだけ問いかけてみたのだと思います。その後、悩みぬいた末に思い切って仕事を辞めました。社会的な肩書きが何もなく、なっ「もう何でもできる！」と思ったことと、手紙に背中を押されたことが音楽活動を始めたきっかけです。諦めていた歌手という夢を、もう一度追いかけることにしました。これまでどのような音楽活動をしましたか？

音楽をやりたいと、周りに公言することから始めました。

すると、友人の紹介で知り合ったラップをやっている先輩たちが「一緒にやってみないか」と声をかけてくれて、急ぎよ自作した曲と一緒にライブに出演することになりました。

この時、初めてちゃんとした楽曲を制作したのですが、実は小学生のころから歌詞やメロディーなどを書きためて保管していたのです。今思えば、この経験が作曲に役立つたのかもしれない。書きためていたものがたまに押入れから出てきて、恥ずかしくなることもあります。

出演したイベントで評価してもらって、次のイベントにも誘ってもらおうというのを繰り返して、出演できるステージが増えていきました。いろんな人が一緒にやろうと誘ってくれて、周りの人に恵まれたことが今につながっていると思います。

人を引きつける何かがあったからこそ、たくさんの方々が生まれれてきたんですね。

とてもありがたいことで、感謝しています。



パワフルな歌声の秘訣は？

にぎやかな家庭で育ったので、小さいころから声は大きい方でした。特に発声練習をしてきたわけではないですが、大きな声でのびのびと遊べる環境が南魚沼にはありました。南魚沼の人は、しっかり体に響かせた発声をする人が多いと思います。発声法を学ぶことで、そのことがとても重要なことだとわかりました。私の歌声は、田んぼや畑が広がる南魚沼の天然ステージが育んだものかもしれません。

地元への思いなどを込めた曲はありますか？

たくさんあります。例えば「おかあさん」という曲の歌詞に出てくる改札は、浦佐駅のことを歌っています。「空がかわりに」という曲で歌っている「空」のイメージは、狭く見える東京の空でもふるさとにつながるようになって、いつも見上げながらふるさとを思っている感じです。言葉にするとなんとなくと恥ずかしいですが。

新潟で歌う機会が増えたと思います。どんな気持ちで込めて歌っていますか？

新潟には、自分の娘のように受け入れてくれる温かさがあって、「うれしい」の一言です。

今までは、新潟で歌う機会があまりありませんでした。やっとみなさんに届けられるアルバムができて、ライブをさせてもらえる機会も増えてきました。よくここまでこれたと思うと同時に、少しだけ胸を張って大好きなふるさとに帰れるようになったなと思います。



農業はこちらに住んでいたころから手伝っていたのですか？

地元には、部活などで休みがなく、実家の農業を手伝おうとは思いませんでした。

東京したことで、南魚沼以外のお米を食べて、南魚沼産コシヒカリのおいしさと親のありがたみを改めて実感して手伝うようになりました。自分が手をかけたお米は、すごくおいしくなります。それからは、農業自体が楽しみになりました。成長過程を見るのもうれしくて、その喜びのために、手伝いたいと思えます。私は大熱唱をしながら、家



族と一緒に楽しく田植えなどをします。こんなに楽しいんだから、若い人たちももっとやってほしいと思います。TSUNEIさんの言葉で若者が農業や農産物に興味を持つてくれるといいですね。最高級の南魚沼産コシヒカリのすばらしさや、農業って楽しいものだということがみんなに伝わってほしいです。インターネットに田んぼの写真を出すと、とても反響があるんです。「実家に手伝いに帰ろう」とか、「農業を継ぐのも悪くないな」と実際に言ってくれる人もいますし、考えるきっかけになる人が増えるといいと思います。

南魚沼市でこれからやってみたいことは？

まだ知らないイベントがあれば、歌う歌わないは関係なく、どんどん参加していきたくいですね。農業などのイベントにも参加して、いつか「TSUNEI米」を出してみたいです。(笑)

あと、南魚沼は音楽の才能を育むのに適した環境があると思うので、もっと音楽ができる道を拓き、夢を抱く人が「音楽をやりたい」と言える地にしたいです。

今後の目標は？

みんなが「TSUNEIが来るから行ってみよう」と集まってくれるような歌手になりたいです。

そのためには、知名度を上げることや、新潟以外での活動が必要だと思っています。そして、新潟のみなさんが自慢に思ってくれるような歌手になれたらいいと思います。

ここだけでは伝えきれないたくさんの魅力を持ったTSUNEIさん。みなさんも応援をお願いします。